

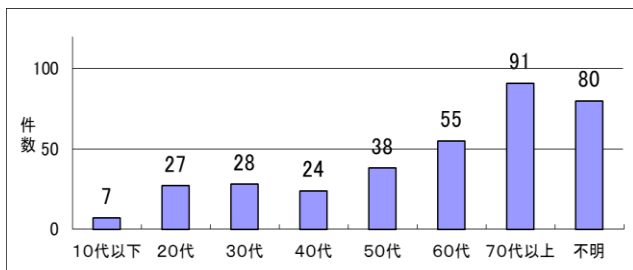
# 令和8年3月分の消費生活相談の概況

- 県消費生活センターで受けた3月の相談件数は、350件で(表1)のとおりです。前年同月(273件)と比べ、77件増加しました。
- 相談件数350件のうち、「不当請求」と判断される相談は13件で、前年同月(9件)と比べ、4件増加しました。
- 契約者の年代別相談件数は、(図1)のとおりです。70代以上が一番多く91件、以下60代が55件、50代が38件、30代が28件、20代が27件、40代以下が24件、10代が7件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、(表2)のとおりです。第1位は「商品一般」で、以下「化粧品(全体)」、「インターネット接続回線」、「健康食品」、「不動産貸借」となっています。

〈表1〉

区分	総相談件数		販売購入形態別相談件数										危害・危険(再掲)		不当請求(再掲)	
	件数	うち苦情相談	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチマがい	電話勧誘販売	ネガティブ・オプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係	危害	危険	うち架空請求		
3月	件数	350	337	52	13	127	1	23	0	4	5	125	6	2	13	6
	構成比(%)	100.0	96.3	14.9	3.7	36.3	0.3	6.6	0.0	1.1	1.4	35.7				
累計	件数	3,952	3,795	578	135	1,443	15	250	7	31	20	1,473	55	13	107	33
前年同月	件数	273	265	44	11	106	1	22	0	2	1	86	7	3	9	1

〈図1〉年代別相談件数



〈表2〉商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	商品一般	48	特定できない商品(不審な電話や請求など)
2	化粧品(全体)	19	メイクアップ、基礎化粧品の販売など
3	インターネット接続回線	16	光回線の契約など
4	健康食品	各	サプリメントの販売など
	不動産貸借	13	退居時の高額請求など

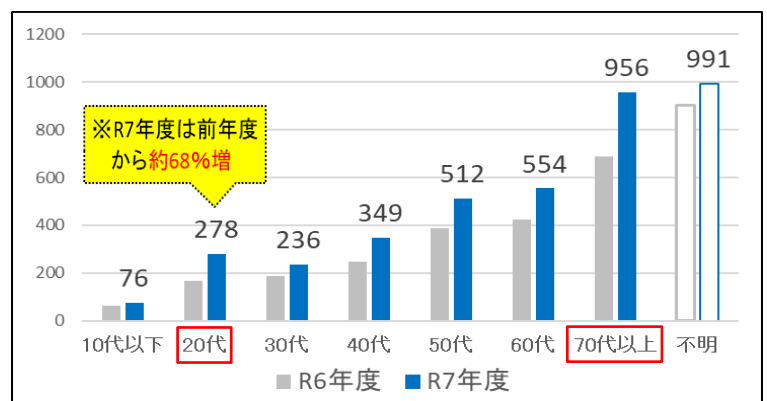
## 《令和7年度の相談の概況》

- ・令和7年度に県消費生活センターで受け付けた相談の件数は**3,952件**で、前年度(3,065件)に比べ**887件の増加**です。(表1)
- ・契約当事者の**年代別相談件数**は、(図1)のとおりで、**70代以上**が956件で**最多**となっています。また、相談の増加率は**20代**が最も高く**約68%増加**となっていますが、これは、**脱毛エステの契約**で会社の倒産に伴う相談が多かったことによるものです。
- ・相談の多かった商品・サービスは、(表2)のとおりです。不審な電話などを含む**「商品一般」**が**約34%増加**となっています。

〈表1〉年度別相談件数

	R5年度	R6年度	R7年度	前年度比(R7/R6)
相談件数	3,463	3,065	3,952	+887(28.9%増)

〈図1〉年代別相談件数



〈表2〉商品・サービス上位5品目 相談件数

	R6年度		R7年度	
商品一般(不審な電話など)	381	511	381	511
化粧品(全体)	195	237	195	237
健康食品	127	148	127	148
不動産貸借	114	120	114	120
役務その他サービス	100	117	100	117

困ったときや心配なときは、消費者ホットライン局番なしの☎188(いやや)にご連絡ください。

県消費生活センターに来所し相談したい場合は、あらかじめ電話(025-285-4196)でご予約ください。